

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年11月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第28期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日） |
| 【会社名】 | オーウイル株式会社 |
| 【英訳名】 | O' will Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 小口 英器 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区北青山一丁目2番3号 |
| 【電話番号】 | (03)5772-4488(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 管理本部長 栗野 恵介 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区北青山一丁目2番3号 |
| 【電話番号】 | (03)5772-4488(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 管理本部長 栗野 恵介 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 累計期間 | 第28期 第2四半期連結 累計期間 | 第27期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日 | 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日 | 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日 |
| 売上高(千円) | 15,010,611 | 14,571,143 | 27,443,865 |
| 経常利益(千円) | 307,862 | 257,611 | 393,347 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 203,224 | 153,149 | 225,637 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 209,114 | 156,139 | 302,137 |
| 純資産額(千円) | 1,541,461 | 1,696,096 | 1,634,452 |
| 総資産額(千円) | 9,152,278 | 7,294,479 | 8,154,668 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 64.52 | 48.62 | 71.63 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 16.8 | 23.3 | 20.0 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 427,638 | 225,262 | 12,913 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 120,843 | 101,587 | 169,538 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 26,378 | 70,858 | 219,709 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 1,529,232 | 848,757 | 1,238,523 |

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 会計期間 | 第28期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年7月1日 至平成24年9月30日 | 自平成25年7月1日 至平成25年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 34.59 | 26.54 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和の効果・期待感から、円安・株高が進み、企業収益に改善が見られるなど、景気回復に明るい兆しが見えてきております。一方、欧米諸国における財政問題や円安進行による原材料価格の上昇など景気の下振れ懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、消費者の節約志向や業種を超えた企業間競争によるデフレ市況が続く中、一部高額品については消費回復の動きがあるものの、消費回復への影響は未だ限定的であり、また、円安による輸入品等の原材料価格は上昇していることから、取巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な食品原料及び資材の供給を継続し、サービスの向上に努めるとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加や取引先の拡大に努めてまいりました。一方で、取引先からは品質が良く安価なものを求められていることや商品のライフサイクルのスピードが短くなっていることから、時代に即したコスト構造の最適化を図ることが急務となってきております。当社グループは、企業グループの将来を見据えて、新規の案件に着手する傍ら、既存取引の見直しを行ってまいりました。その結果、売上高は14,571,143千円（前年同期比2.9%減）となりました。また、前年同期は好調であった機能性食材の販売が伸張しなかったことや販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は228,793千円（前年同期比22.8%減）、経常利益は257,611千円（前年同期比16.3%減）、四半期純利益は153,149千円（前年同期比24.6%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

< 卸売事業 >

飲料市場においては、国内市場が飽和状態であることから企業再編やグローバル展開が加速し、企業間の競争は激化しております。このような状況下、当社グループは、取引先のニーズに応えるべく、国内外から原料資材の確保に努め、安定供給体制を維持する一方、取引先の拡大や利益率の改善に努めてまいりました。新商品の発売や夏場の清涼飲料増産等もありクエン酸、糖類、果汁、茶葉等の販売数量が伸張したものの、利益率の低い飲料製品の取引を一部解消したこと、コンビニのセルフコーヒーの普及に伴い缶コーヒーが苦戦を強いられ、使用されている殺菌乳の販売数量が減少したことなどにより、売上高は14,194,329千円（前年同期比3.4%減）となりました。

< 製造販売事業 >

安心で安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面の強化に注力する一方、NBブランドの強化を図るため、「やさしいあいすくりーむ」の拡販に努めてまいりました。「やさしいあいすくりーむ」の高評価を受け、新たな販売チャンネルが増加し、新規の個食用のアイスが好調に推移いたしました。また、お客様のニーズに合わせたPB商品の開発を取引先と共同で行い、業務用アイスの販売数量が増加しましたが、既存顧客への販売が低調に推移し、売上高は279,797千円（前年同期比4.2%減）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区に4店舗展開しており、そのうちの1店舗が24時間店舗であります。各店舗において経費削減を含む店舗運営の効率化に努めたほか、店舗間の連携を強化したことにより収益力が改善し、売上高は421,541千円（前年同期比10.8%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

（2）財政状態の分析

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ922,122千円減少し、6,220,554千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ61,933千円増加し、1,073,925千円となりました。主な要因は、無形固定資産及び投資その他の資産の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて860,188千円減少し、7,294,479千円となりました。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ926,345千円減少し、4,965,207千円になりました。主な要因は、買掛金の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,512千円増加し、633,176千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ921,832千円減少し、5,598,383千円となりました。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ61,644千円増加し、1,696,096千円となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ389,765千円減少し、848,757千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、225,262千円（前年同期は427,638千円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少額が売上債権の減少額を大幅に上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、101,587千円（前年同期比15.9%減）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、70,858千円（前年同期は26,378千円の収入）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（5）研究開発活動

記載すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 3,150,000 | 3,150,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 3,150,000 | 3,150,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|-------------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 | - | 3,150,000 | - | 363,387 | - | 288,387 |

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|-------------|-------------------|--------------|--------------------------------|
| 株式会社ピアンナ | 東京都千代田区大手町1丁目6-1 | 1,060,000 | 33.65 |
| グリーンコア株式会社 | 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目14-9 | 300,000 | 9.52 |
| オーウイル従業員持株会 | 東京都港区北青山1丁目2-3 | 123,100 | 3.91 |
| 株式会社伊藤園 | 東京都渋谷区本町3丁目47-10 | 90,000 | 2.86 |
| 小口 英器 | 東京都港区 | 90,000 | 2.86 |
| 大野 信司 | 東京都北区 | 55,400 | 1.76 |
| 青柿 年英 | 千葉県柏市 | 50,000 | 1.59 |
| 加賀電子株式会社 | 東京都千代田区外神田3丁目12-8 | 44,000 | 1.40 |
| 山口 順一 | 神奈川県相模原市中央区 | 37,000 | 1.17 |
| 小口 八穂子 | 東京都港区 | 36,500 | 1.16 |
| 計 | - | 1,886,000 | 59.87 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 100 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,148,900 | 31,489 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 3,150,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 31,489 | - |

(注) 単元未満株式のうち自己保有株式の明細は次のとおりであります。

| 所有者の名称 | 所有株式数(株) |
|-----------|----------|
| オーウイル株式会社 | 36 |

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%) |
|------------|---------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| オーウイル株 | 東京都港区北青山一丁目 2番3号 | 100 | - | 100 | 0.00 |
| 計 | - | 100 | - | 100 | 0.00 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,238,523 | 848,757 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,226,392 | 3,555,557 |
| 商品及び製品 | 815,459 | 922,353 |
| 未着商品 | 517,893 | 360,926 |
| 原材料及び貯蔵品 | 14,916 | 17,828 |
| 未収入金 | 242,603 | 422,101 |
| 繰延税金資産 | 17,634 | 29,036 |
| その他 | 74,003 | 68,691 |
| 貸倒引当金 | 4,750 | 4,700 |
| 流動資産合計 | 7,142,676 | 6,220,554 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 324,907 | 318,625 |
| 無形固定資産 | 88,112 | 115,912 |
| 投資その他の資産 | 598,971 | 639,387 |
| 固定資産合計 | 1,011,991 | 1,073,925 |
| 資産合計 | 8,154,668 | 7,294,479 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,712,310 | 3,757,150 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 228,348 | 250,676 |
| 未払金 | 829,093 | 730,632 |
| 未払法人税等 | 23,991 | 116,781 |
| 賞与引当金 | 37,269 | 43,239 |
| その他 | 60,539 | 66,727 |
| 流動負債合計 | 5,891,552 | 4,965,207 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 564,365 | 567,309 |
| 資産除去債務 | 5,012 | 5,054 |
| その他 | 59,286 | 60,812 |
| 固定負債合計 | 628,663 | 633,176 |
| 負債合計 | 6,520,215 | 5,598,383 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 363,387 | 363,387 |
| 資本剰余金 | 288,387 | 288,387 |
| 利益剰余金 | 940,079 | 998,732 |
| 自己株式 | 71 | 71 |
| 株主資本合計 | 1,591,782 | 1,650,436 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 29,875 | 36,505 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7,066 | 2,365 |
| 為替換算調整勘定 | 5,727 | 6,789 |
| その他の包括利益累計額合計 | 42,669 | 45,660 |
| 純資産合計 | 1,634,452 | 1,696,096 |
| 負債純資産合計 | 8,154,668 | 7,294,479 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 15,010,611 | 14,571,143 |
| 売上原価 | 13,740,491 | 13,295,312 |
| 売上総利益 | 1,270,119 | 1,275,830 |
| 販売費及び一般管理費 | 973,802 | 1,047,036 |
| 営業利益 | 296,317 | 228,793 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 51 | 138 |
| 受取配当金 | 2,984 | 3,104 |
| 為替差益 | 13,280 | 19,554 |
| 受取手数料 | 3,314 | 3,314 |
| 受取補償金 | 2,031 | 6,674 |
| 貸倒引当金戻入額 | 920 | - |
| 保険解約返戻金 | - | 3,200 |
| その他 | 1,799 | 1,137 |
| 営業外収益合計 | 24,381 | 37,123 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,916 | 6,242 |
| 支払補償費 | 6,592 | 1,747 |
| その他 | 327 | 315 |
| 営業外費用合計 | 12,836 | 8,305 |
| 経常利益 | 307,862 | 257,611 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,133 | - |
| 負ののれん発生益 | 12,730 | - |
| 特別利益合計 | 15,864 | - |
| 特別損失 | | |
| 訴訟関連損失 | 32,857 | - |
| 特別損失合計 | 32,857 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 290,869 | 257,611 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 106,197 | 112,781 |
| 法人税等調整額 | 29,442 | 8,319 |
| 法人税等合計 | 76,754 | 104,461 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 214,115 | 153,149 |
| 少数株主利益 | 10,890 | - |
| 四半期純利益 | 203,224 | 153,149 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 214,115 | 153,149 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,403 | 6,630 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4,530 | 4,701 |
| 為替換算調整勘定 | 934 | 1,061 |
| その他の包括利益合計 | 5,000 | 2,990 |
| 四半期包括利益 | 209,114 | 156,139 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 198,224 | 156,139 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 10,890 | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 290,869 | 257,611 |
| 減価償却費 | 21,659 | 20,143 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 180 | 50 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 3,946 | 5,970 |
| 受取利息及び受取配当金 | 3,035 | 3,242 |
| 支払利息 | 5,916 | 6,242 |
| 為替差損益(は益) | 2,617 | 7,649 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | 3,133 | - |
| 訴訟関連損失 | 32,857 | - |
| 負ののれん発生益 | 12,730 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 1,171,497 | 670,836 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 62,811 | 47,160 |
| 未収入金の増減額(は増加) | 32,787 | 179,498 |
| 破産更生債権等の増減額(は増加) | 50 | - |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 1,503,257 | 955,161 |
| 未払金の増減額(は減少) | 27,671 | 72,188 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 9,013 | 4,663 |
| その他 | 29,667 | 3,377 |
| 小計 | 582,375 | 201,786 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,016 | 3,361 |
| 利息の支払額 | 5,989 | 6,273 |
| 訴訟関連損失の支払額 | 2,857 | - |
| 法人税等の支払額 | 148,906 | 20,563 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 427,638 | 225,262 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 20,111 | 13,063 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,820 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 54,896 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 47,532 | 34,112 |
| 関係会社株式の取得による支出 | 40,000 | - |
| 関係会社貸付けによる支出 | 15,522 | - |
| 貸付金の回収による収入 | - | 813 |
| 差入保証金の差入による支出 | 808 | - |
| 差入保証金の回収による収入 | - | 360 |
| その他 | 689 | 689 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 120,843 | 101,587 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 77,714 | 124,728 |
| リース債務の返済による支出 | 2,082 | 2,216 |
| 配当金の支払額 | 93,825 | 93,913 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 26,378 | 70,858 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 3,146 | 7,942 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,182,775 | 1,238,523 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 16,429 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,529,232 | 848,757 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 投資その他の資産 | 9,900千円 | 9,900千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 賃金給料及び諸手当 | 371,612千円 | 385,508千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 44,828 | 43,239 |
| 運賃 | 198,379 | 228,060 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 1,529,232千円 | 848,757千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | - | - |
| 現金及び現金同等物 | 1,529,232 | 848,757 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 94,497 | 30 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 94,495 | 30 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月26日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-------------------------|------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 卸売事業 | 製造販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,557,961 | 72,027 | 14,629,988 | 380,622 | 15,010,611 | - | 15,010,611 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 134,897 | 219,930 | 354,827 | - | 354,827 | 354,827 | - |
| 計 | 14,692,858 | 291,958 | 14,984,816 | 380,622 | 15,365,439 | 354,827 | 15,010,611 |
| セグメント利益又はセ グメント損失() | 269,209 | 30,543 | 299,752 | 4,145 | 295,607 | 710 | 296,317 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額710千円は、セグメント間取引消去710千円であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社である㈱サンオーネストの発行済株式を追加取得したことにより、連結損益計算書において12,730千円の「負ののれん発生益」(特別利益)を製造販売事業で計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 卸売事業 | 製造販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,065,222 | 84,378 | 14,149,601 | 421,541 | 14,571,143 | - | 14,571,143 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 129,106 | 195,418 | 324,525 | - | 324,525 | 324,525 | - |
| 計 | 14,194,329 | 279,797 | 14,474,126 | 421,541 | 14,895,668 | 324,525 | 14,571,143 |
| セグメント利益 | 206,521 | 16,863 | 223,384 | 3,480 | 226,865 | 1,928 | 228,793 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,928千円は、セグメント間取引消去1,928千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 64円52銭 | 48円62銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 203,224 | 153,149 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 203,224 | 153,149 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,149,918 | 3,149,864 |

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

オーウイル株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊藤 文男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋田 英明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーウイル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーウイル株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。